

(公社) 日本臓器移植ネットワーク (JOT) の体制刷新等
の進捗について (報告)

平成 26 年 11 月

あっせん業務誤り (腎臓移植の希望者への意思確認に係るルールの誤解)

平成 27 年 3 月

あっせん業務誤り (コンピューターの操作ミス、誤った優先順位リスト
のチェック漏れ)

3 月 10 日～ 厚生労働省による立入検査

3 月 30 日 厚生労働大臣からの指示

(再発防止のための改革の方針の 6 月末日処とりまとめ、
役職員の責任の明確化等)

4 月 JOT において第三者委員会の設置

6 月 第三者委員会報告書とりまとめ (参考資料 5)

(提言のポイント)

- 今後は、最優先事項として、次の 3 点を至急行うべき。
 - ・ システム上想定される問題点の洗い出し及び改修への反映
 - ・ 業務基準書の整備を含めた適切な業務手順の確立
 - ・ 現行体制の刷新 (常勤理事の交替、理事会体制の刷新等)
- その他、組織体制・処遇制度の見直し、教育システムの見直しを
行うとともに、長期的課題としては、JOT の業務の社会的意義やビ
ジョンの共有、日常のコミュニケーションの強化、職員の納得性
の向上等のための具体策についても検討すべき。

→ JOT では、現在、第三者委員会報告書に基づき体制の刷新、
改革方針の策定等を進めており、完了した時点で厚生労働大臣への
報告書の提出・公表を行う予定。